

平成 29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	多文化人財「日本人も外国人もみんなで魅力ある地域づくりを」
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 中信多文化共生ネットワーク (070-1466-2107)
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,222,581 円 (うち支援金: 977,000 円)

事業内容

日本を訪れる外国人観光客は、年々増加しているが、松本地域が外国人観光客の受け入れに積極的とは言い難い。加えて、松本には県内1外国人住民が多いが、外国人住民の力を松本の観光産業の発展に活かしていない。そこで、松本在住の外国人住民が講師となり、外国人観光客の受け入れサポートとしての文化紹介等の講座「外国人観光客おもてなしセミナー」を開催した。

- ・外国人おもてなし講座「タイ編」、「中国編」、「ムスリム編」、「台湾編」を各1回開催。
- ・外国人講師向けの研修を2回開催
- ・SNS等で松本の魅力を発信する外国人ボランティアの募集とテスト発信。



【講座の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①「お互いの文化を理解するいい機会だった」(アンケートより)など参加者の外国人観光客に対する抵抗感を和らげることに貢献した
- ②「具体的に 食べられる・食べられない の例があってよかった」(アンケートより)など具体的なおもてなしの方法などを学び、外国人観光客に対するおもてなし力の向上を図ることができた
- ③「信州の良いところをどうやって PR していくか考えます」(アンケートより)など、今後の長野県の観光産業活性化に向けた活動に繋がったと見込める。
- ③17名の外国人住民ボランティア(8カ国・8言語)が松本の観光情報を SNS でテスト発信。1回の投稿で2,000弱へ情報が届いた。

- 【目標・ねらい】
- ①外国人観光客に対する抵抗感を和らげる
  - ②外国人観光客に対するおもてなし力の向上
  - ③外国人観光客の誘客・観光産業の活性化

※自己評価 【 A 】

【理由】講座広報に力をいれ、1講座当たりの平均参加者数が前年度比2倍以上となった。講座を2部制にし、先進事例等の紹介もしたので、より具体的な情報を参加者に提供できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

28、29年度助成事業の実績により、一般市民・観光に携わる地元中小企業等から外国人住民とつなげてほしいという依頼が増加した。このような地域のニーズへの対応力を向上し、事業の自立を確実にしていくために、外国人講師の発掘・育成に30年度は重点を置き、おもてなし講座の開催に加え、講師研修を実施する。また、SNS等で松本の魅力や観光情報を発信できる外国人住民と松本の観光産業に携わる人々をつなげ、効果的な情報発信方法を開発していくことも継続する。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある